

(参考資料)

各市町の財政シミュレーション

平成15年11月25日

始良中央地区合併協議会

(1) 結果概要

現在の標準的な行政サービス水準を維持すると仮定すると、1市6町すべて推計期間を通じて歳入が不足し、「歳入－歳出」はマイナスとなり、財政調整基金・減債基金等から繰入を行う状況になると予測される。

そして、財政調整基金・減債基金等からの繰入により行政サービスを維持するとしても、国分市以外は平成21年度～平成22年度に、国分市は平成26年度に財政調整基金・減債基金等が枯渇し、その後は、現在の標準的なサービス水準の維持は困難になると予測される。

各市町の単年度の収支状況

単位: 百万円

市町名	単年度の収支状況 (歳入-歳出) <基金から繰入しない場合>			平成17年度 から平成26 年度の累計	財調基金・減債 基金等がマイナ スに転じる年度
	平成17年度	平成22年度	平成26年度		
国分市	△481	△1,086	△645	△474	平成26年度
溝辺町	△179	△502	△523	△2,488	平成22年度
横川町	△66	△316	△292	△1,524	平成22年度
牧園町	△424	△250	△291	△1,547	平成21年度
霧島町	△230	△277	△203	△1,345	平成21年度
隼人町	△204	△761	△748	△4,230	平成21年度
福山町	△132	△304	△299	△1,676	平成21年度
合 計	△1,716	△3,496	△3,001	△13,284	

各市町の収支を単純計算すると基金残高はマイナス132億8千4百万円となります。

(2) 各市町の結果概要

① 国分市

現在の標準的な行政サービス水準を維持し、財政調整基金・減債基金等からの繰入がないと仮定すると、平成 16 年度から歳入が不足し、歳入－歳出はマイナスとなると予測される。

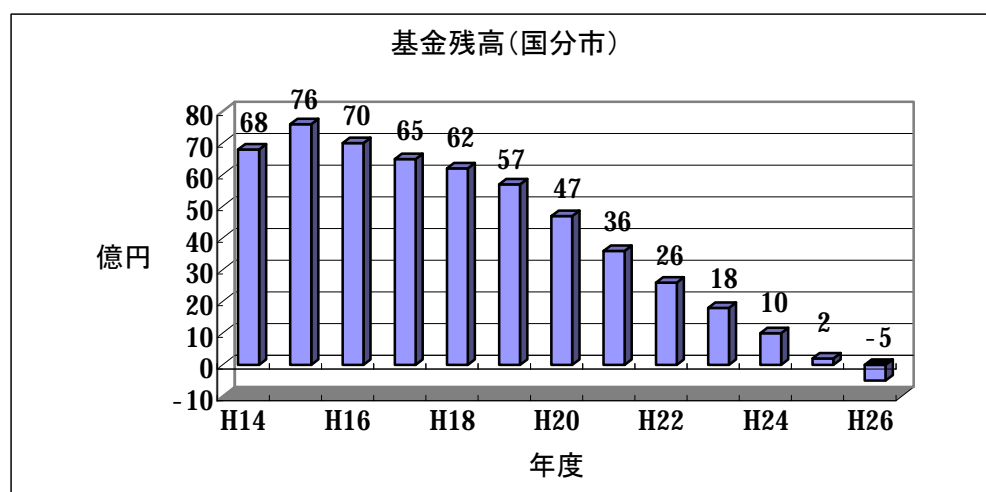
基金から繰り入れた場合も、平成 25 年度までは歳入が確保可能だが、平成 26 年度以降は基金がなくなり、現在の標準的なサービス水準の維持は困難になると予測される。

各年度の収支状況は、年間約 4～10 億円の歳入が不足すると予測される。

国分市における財政シミュレーション結果

単位: 百万円

	平成 14 年度	平成 17 年度	平成 22 年度	平成 26 年度
歳入	22,771	19,056	18,643	19,145
うち地方交付税	4,503	4,670	4,128	4,452
歳出	22,136	19,537	19,729	19,790
収支(歳入-歳出)	635	△481	△1,086	△645
財政調整・減債基金等残高	6,805	6,550	2,554	△474



② 溝辺町

現在の標準的な行政サービス水準を維持し、財政調整基金・減債基金等からの繰入がないと仮定すると、平成 16 年度から歳入が不足し、歳入－歳出はマイナスとなると予測される。

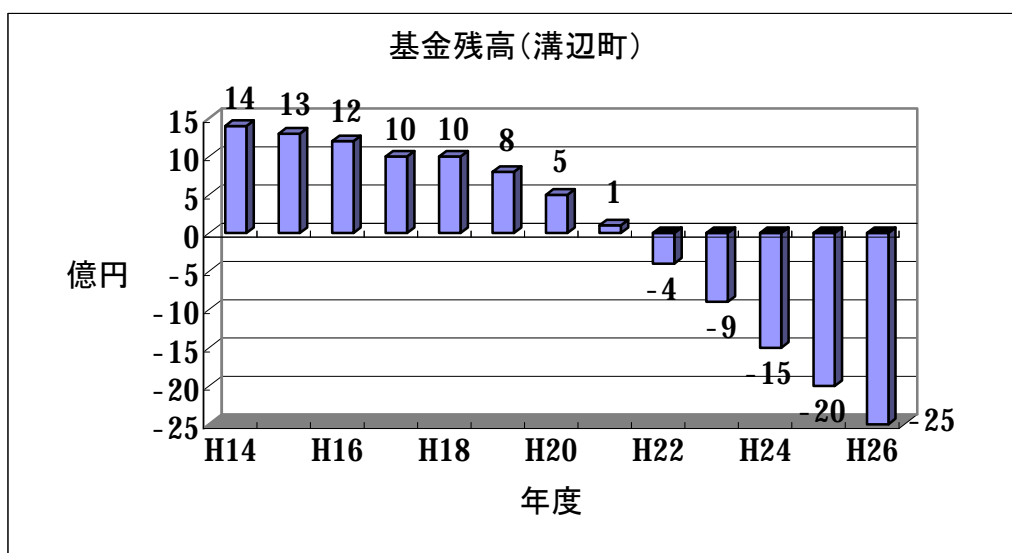
基金から繰り入れた場合も、平成 21 年度までは歳入が確保可能だが、平成 22 年度以降は基金がなくなり、現在の標準的なサービス水準の維持は困難になると予測される。

各年度の収支状況は、年間約 1～5 億円の歳入が不足すると予測される。

溝辺町における財政シミュレーション結果

単位: 百万円

	平成 14 年度	平成 17 年度	平成 22 年度	平成 26 年度
歳入	4,634	4,848	4,348	4,393
うち地方交付税	1,119	1,169	990	1,014
歳出	4,523	5,027	4,850	4,916
収支(歳入-歳出)	111	△179	△502	△523
財政調整・減債基金等残高	1,446	1,022	△448	△2,488



③ 横川町

現在の標準的な行政サービス水準を維持し、財政調整基金・減債基金等からの繰入がないと仮定すると、平成 16 年度から歳入が不足し、歳入－歳出はマイナスとなると予測される。

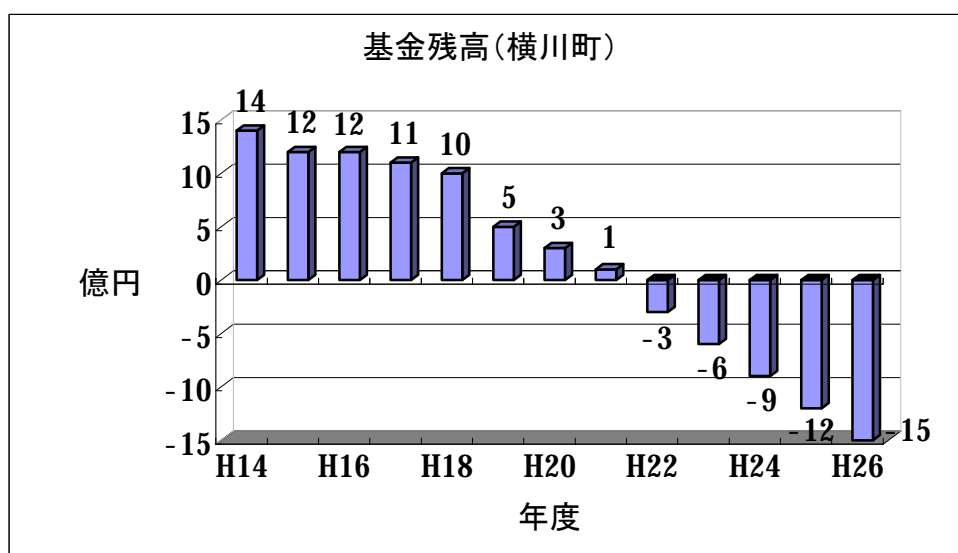
基金から繰り入れた場合も、平成 21 年度までは歳入が確保可能だが、平成 22 年度以降は基金がなくなり、現在の標準的なサービス水準の維持は困難になると予測される。

各年度の収支状況は、年間約 1～4 億円の歳入が不足すると予測される。

横川町における財政シミュレーション結果

単位: 百万円

	平成 14 年度	平成 17 年度	平成 22 年度	平成 26 年度
歳入	4,422	3,441	3,194	3,153
うち地方交付税	1,625	1,637	1,329	1,299
歳出	4,293	3,507	3,510	3,445
収支(歳入-歳出)	129	△66	△316	△292
財政調整・減債基金等残高	1,409	1,098	△299	△1,524



④ 牧園町

現在の標準的な行政サービス水準を維持し、財政調整基金・減債基金等からの繰入がないと仮定すると、平成 16 年度から歳入が不足し、歳入－歳出はマイナスとなると予測される。

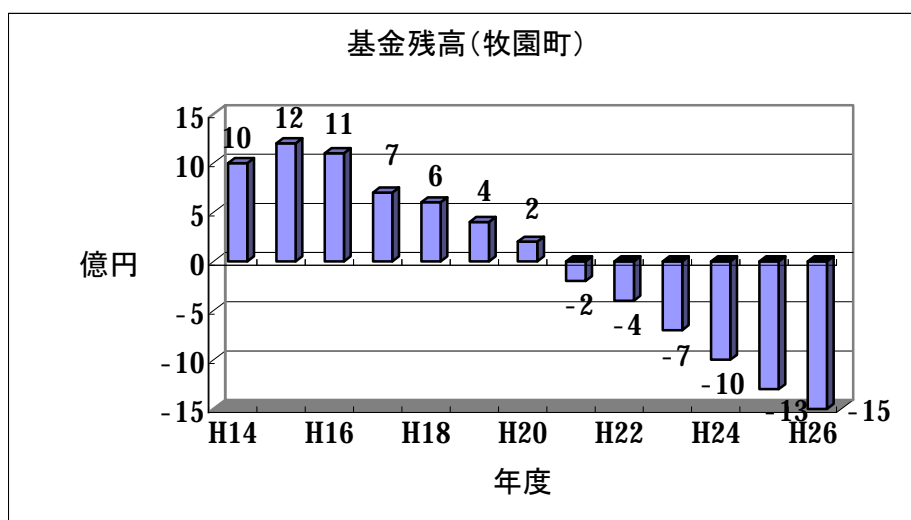
基金から繰り入れた場合も、平成 20 年度までは歳入が確保可能だが、平成 21 年度以降は基金がなくなり、現在の標準的なサービス水準の維持は困難になると予測される。

各年度の収支状況は、年間約 1～4 億円の歳入が不足すると予測される。

牧園町における財政シミュレーション結果

単位: 百万円

	平成 14 年度	平成 17 年度	平成 22 年度	平成 26 年度
歳入	5,699	5,349	4,711	4,603
うち地方交付税	2,228	2,268	1,809	1,739
歳出	5,489	5,773	4,961	4,894
収支(歳入-歳出)	210	△424	△250	△291
財政調整・減債基金等残高	1,021	703	△423	△1,547



⑤ 霧島町

現在の標準的な行政サービス水準を維持し、財政調整基金・減債基金等からの繰入がないと仮定すると、平成16年度から歳入が不足し、歳入－歳出はマイナスとなると予測される。

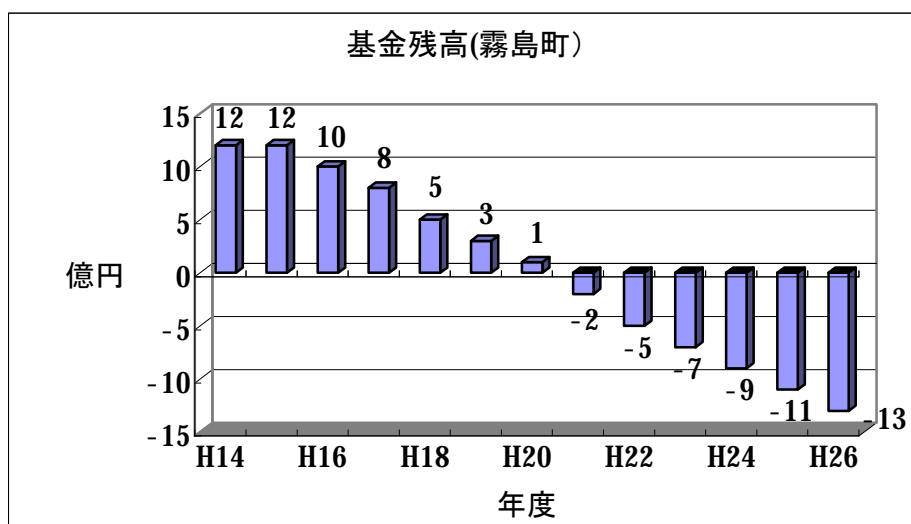
財政調整基金・減債基金から繰り入れた場合も、平成20年度までは歳入が確保可能だが、平成21年度以降は基金がなくなり、現在の標準的なサービス水準の維持は困難になると予測される。

各年度の収支状況は、年間約2～3億円の歳入不足が予測される。

霧島町における財政シミュレーション結果

単位: 百万円

	平成14年度	平成17年度	平成22年度	平成26年度
歳入	4,003	3,295	2,980	2,940
うち地方交付税	1,485	1,506	1,220	1,194
歳出	3,891	3,525	3,257	3,143
収支(歳入-歳出)	112	△230	△277	△203
財政調整・減債基金等残高	1,163	798	△466	△1,345



⑥ 隼人町

現在の標準的な行政サービス水準を維持し、財政調整基金・減債基金等からの繰入がないと仮定すると、平成 16 年度から歳入が不足し、歳入－歳出はマイナスとなると予測される。

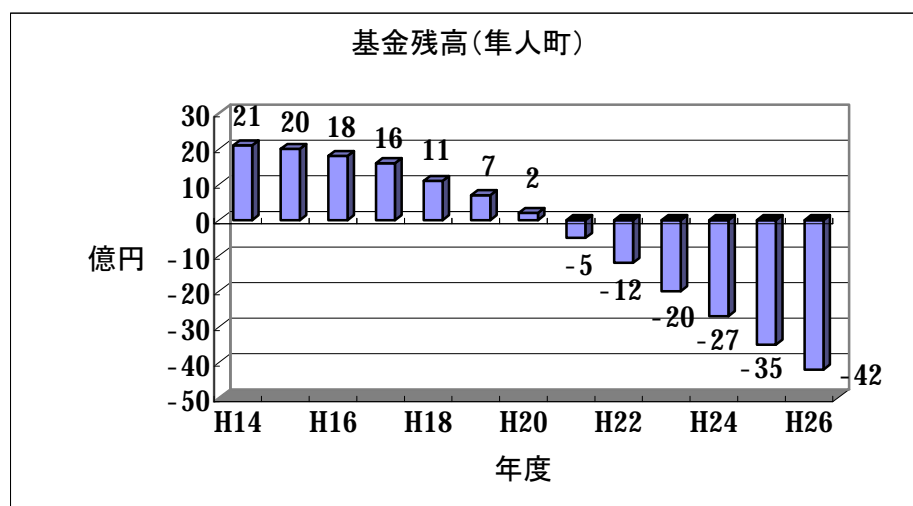
財政調整基金・減債基金から繰り入れた場合も、平成 20 年度までは歳入が確保可能だが、平成 21 年度以降は基金がなくなり、現在の標準的なサービス水準の維持は困難になると予測される。

各年度の収支状況は、年間約 2～7 億円の歳入不足が予測される。

隼人町における財政シミュレーション結果

単位: 百万円

	平成 14 年度	平成 17 年度	平成 22 年度	平成 26 年度
歳入	10,515	9,735	9,587	9,678
うち地方交付税	2,466	2,754	2,363	2,432
歳出	10,149	9,939	10,348	10,426
収支(歳入-歳出)	366	△204	△761	△748
財政調整・減債基金等残高	2,078	1,644	△1,223	△4,230



⑦ 福山町

現在の標準的な行政サービス水準を維持し、財政調整基金・減債基金等からの繰入がないと仮定すると、平成 16 年度から歳入が不足し、歳入－歳出はマイナスとなると予測される。

基金から繰り入れた場合も、平成 20 年度までは歳入が確保可能だが、平成 21 年度以降は基金がなくなり、現在の標準的なサービス水準の維持は困難になると予測される。

各年度の収支状況は、年間約 1～3 億円の歳入が不足すると予測される。

福山町における財政シミュレーション結果

単位: 百万円

	平成 14 年度	平成 17 年度	平成 22 年度	平成 26 年度
歳入	4,253	3,610	3,211	3,139
うち地方交付税	1,816	1,839	1,478	1,427
歳出	4,088	3,742	3,515	3,438
収支(歳入-歳出)	165	△132	△304	△299
財政調整・減債基金等残高	1,042	795	△374	△1,676

